

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和7年度
前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25 字×40 行＝1000 字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～4 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で行って段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

【問題1】

徒歩も含め、物理的な移動には必ず何らかの手段が必要である。いかなる移動手段もいわば広義のメディアとして、人と人、あるいは人と外部環境とをそれぞれの仕方で媒介している。仮に同じ目的地に向かうとしても、移動手段が違えばその移動はまったく異なる経験や体験となりうるだろう。以上をふまえた時、それぞれの移動手段にはどのような特徴があると言えるだろうか。複数の移動手段を取り上げてその特徴を比較し、移動がもたらす経験・体験や、こうした移動が人間にとって有する意味について論じなさい。

【問題2】

多様な背景を持つ人々が共に暮らす現代において、言語教育には学習者の市民性形成の役割が期待されるようになった。市民性を「自分以外の他者と共に生きる能力」と定義した場合、市民性を育む言語教育とはどのような教育だと思いますか。論じなさい。

【問題3】

インターネットや SNS の普及により雑誌の廃刊が続いている。雑誌の果たしてきた役割を踏まえて、どうして廃刊が増えているのかを論じた上で、インターネットや SNS などのメディアは雑誌と同じ役割を担うのか、それとも異なる役割を果たすのか、また、今後雑誌はどうなっていくかについて論じなさい。

【問題4】

近年、訪日外国人観光客数が回復していく中で、たとえば飲食店では、外国人観光者向けに価格を高めに設定するところも出てきた。この「二重価格設定」に関してあなたの考え方を論じなさい。